



あ ま 海 士

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール: info@town.ama.shimane.jp

平成18年

3

No. 397



町の人口世帯数

総人口 2,534人(－7)
男 1,199人(±0)
女 1,335人(－7)
世帯数 1,118世帯(±0)
住民基本台帳(2月末現在)
()内は12月末との比較

自覚・立志・健康

まだ見ぬ未来に向かって夢膨らみます！

2月4日、海士中学校2年生25名を迎えて35回目となる立春日が隠岐開発総合センターで行われました。保護者や来賓の見守る中、式典が行われ、その後、5名の代表が14歳の節目に決意新たに将来に向けての目標や課題を発表しました。また、昨年から交流が深まった東京国立市にある一橋大学の学生もかけつけ激励の言葉をいただきました。(関連記事P6掲載)

主な内容

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ●消防出初め式……………2～3 | ●教育だより……………12～13 |
| ●町の話……………4～9 | ●隠岐島前高校だより他……………14～15 |
| ●議会だより……………10～11 | ●戸籍の窓……………16 |

町政の経営指針 自立・挑戦・交流 ～そして限りなき前進～

防災の

決意新たに！

海士町消防団初め式

平成18年海士町消防団出初め式が、1月6日隠岐神社外苑において行われました。

小雪舞う中、消防団員94名が結集し、今年一年の防災の決意を新たにしました。

式典では山内町長から、「住



式典前には、菱浦港（旧観光協会前）において一斉放水が行われました。

民の皆様方の生命財産を守ることはもとより、安全で快適なまちづくりを目指し、行政と一体となった地域ぐるみの消防体制の確立が重要である」とあいさつがあり、また、島津消防団長は、「地域住民の生命と財産を守るため、誇りと自信を持ち、住民から信頼される消防活動に取り組んでほしい」と訓辞されました。

また、永年消防活動に功績

のあった団員に表彰状が贈られました。表彰を受けた方々は次のとおりです。

○海士町消防団長表彰

5年勤続

田辺 敏誠
和多田利明

10年勤続

島根 茂樹
宇野 千秋
大橋 安王

15年勤続

中川 実
永原 馨
小新 幸晴

20年勤続

青木 秀明

25年勤続

松尾 晃
宇野 茂久

○海士町長表彰

和泉 克彦

永原 馨
小新 幸晴
中川 実

○島前消防協会会長表彰

青木 秀明

○島根県知事表彰

永年勤続功労賞

前田 忠章

○日本消防協会会長表彰

勤続賞 金谷 謙造

精績章 中村 等光

御下賜金伝達

あま福祉会

12月26日

御下賜金（こかしきん）とは、天皇誕生日に際し、毎年、天皇陛下が社会福祉事業奨励の思召をもって、民間社会福祉事業に係る事業実績優秀な施設・団体に対し、各都道府県指定都市一ヶ所に金一封を下賜されるものです。

島根県内では、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、経費老人ホームを運営する、一団体・施設に贈られたものです。今年度は、社会福祉法人「あま福祉会」に対し、島根県知事を伝達者として御下

澄田信義知事から伝達文を受けられる
あま福祉会山中理事長



賜金の伝達式が行われました。「あま福祉会」は、平成2年5月に島根県ではじめて小規模特別養護老人ホームとして開設され、平成16年には、グループホームの新設や短期入所（ショートステイ）の増床などサービスの充実を図り、町の福祉施設として大いに寄与したことなどが評価されたものです。あま福祉会山中重遠理事長は「この榮譽を糧にさらに福祉の向上に励みたい」と決意を新たにのべられました。



（仮称）西トンネル安全祈願祭

産業振興と地域交流を深めることを期待す！

ふるさと農道整備事業（仮称）西トンネル工事の安全祈願祭が1月23日、西（井ノ元）現地で開かれ、県や工事関係者ら約40名が出席しました。

祈願祭では、山内町長、隠岐支庁長、隠岐支庁農林局長、川津局長、徳畑建設社長らが鍬入れをして工事の安全を祈願しました。

このトンネルは、全長325m幅5・5m（6・75m）総工費7億6千5百万円、覆工内空断面積39・2平方メートル、平成19年7月下旬完成予定です。

地域の農水産業の活性化と産業振興や地域住民の交流を深めるものと期待します。



鍬入れの儀を終え玉串奉奠をする山内町長



「天川疎水」疎水百選に認定！

後世に残そう！この清水



していくことが重要とされ中でも農業のための用水をテーマとして疎水百選の選定が行われました。

全国から22万6千件という応募総数で、全国で110箇所認定され島根県では出雲市の「高瀬川」と海士町の「天川疎水」（保々見）がみごと疎水百選に認定されました。

この「天川」

今、全国的に農村の高齢化、環境意識の高まり、農業の国際競争への対応、等こうした状況が重なって日本の「水・土・里」は今、大きな曲がり角にきているようです。農林水産省では日本の美しく豊かな「水・土・里」を育て維持

は昭和60年に全国の名水百選に選ばれ海士町の観光名所のひとつとしても有名です。日量400tを越す湧き水があります。この豊富な水量を生かし天川は農業用水としても大いに利用され周辺地域は稲作が営まれています。

今回の疎水百選認定を機とし、地元住民の方々の一層の管理体制の維持をお願いするとともに、自慢のできる天川疎水を後世に残してほしいものと期待するところです。

「天川の水」を清掃管理する保々見地区の皆さん



「地域通貨実証実験」

地域通貨「フォーラム in 海士」

☆離島のハンディーをアドバンテージに！



「フォーラム」となり、地域通貨の魅力や将来の可能性などを探るとともに、地域通貨を活用して「島を元気にする」といった町づくりの手法などが語られました。

地域通貨（特定の地域内などで限定的に流通するお金）は、日本全国で、800種類にもおよび各地で活躍しています。昨年総務省の地域通貨モデルシステム実証実験の認定を受け、本町でも8月から地域通貨「ハーン」を菱浦地区で導入し、その後、海士町商工会のご協力により、12月には全町で地域通貨が使用できるようになりました。

菱浦地区に地域通貨をいち早く導入した協谷氏は、『もと一島一町行政区間であるこの島の特性を逆手にとり、島内での決済手段としては円ではなくお互いが信用できる「通貨」を使えばいいのではないか。円の目減りを地域通貨「ハーン」で少しでも緩和

したい。また、産業振興に使っていくような思いで地域通貨を導入した』と述べられました。また、小泉氏は、『日本

は外国に比べれば自動販売機が多く、言葉をお互いに理解することができ、海士町では地域通貨「ハーン」を使う時には必ず言葉をお互いにコミュニケーションの道具として捉えてみてはどうだろうか。また新しい「ハーン」の関わりが持てるのではないかと期待している。』と述べられました。

また、山内町長は『地域通貨「ハーン」はまちづくりのツールのひとつとして考えており、今後は地域経済の活性化や人と人のコミュニケーションが多様化してくるのではないかと。また、昨年4月より人間力推進プロジェクトを立ち上げ、教育・福祉のあり方、海士らしい人づくり、海士らしい福祉のあり方を模索している。最終的には、教育や福祉の場面、あるいはボランティア活動の中に地域通貨を活かしていけるのではないかと期待している。そのため

には、「ハーン」通貨が、地域の皆さんによく理解され、また、愛されて完全に定着化することが肝要である。

そして、また、観光客にも使えるように早く着実に伸ばして行ってもらいたい。また、一方では、経済に物語性のあるものや楽しさを含みながら今後どんどん輪が広がっていくことを願っている。』と述べました。なんとと言っても経済の活性化のため内需拡大をめざし、島外にお金を流出させない仕組みやまた、観光客の消費（外需）拡大に向けひとりでも多くの住民のみなさんに地域通貨「ハーン」を使用してもらうことが最も重要ではないでしょうか。



住基カードを手に買い物を楽しむ皆さん

午後からは、地域通貨や住

民基本台帳カード（住基カード）を使った実証実験があり、あらかじめ住基カードに内蔵したICチップにポイントがため込んであり、商品を購入するとそこからポイントが引き落とされるといったシステムで、住基カードを手にした住民らが特設された屋台に並び、うどんやイカ飯などを購入したり、地域通貨「ハーン」を使って買い物を楽しみました。また、イベントの最後には大福引き大会があり、賞金総額50万「ハーン」をねらう参加者で賑わいました。今回の実証実験を通し、地域通貨は人と人を繋ぐコミュニケーションや文化と交流をもつアイテムであるということや、IT社会といわれる今だからこそ離島でありながらコミュニケーションにはそのハンディーはありません。このように「離島のハンディー」をアドバンテージに！』といった熱い思いが伝わった一日でもあり、住民の皆さんには今後おいに地域通貨「ハーン」を使ってまちづくりに参加していただくことを期待します。

海士町家族会から NPO法人「だんだん」へ



NPO法人「だんだん」設立にあたってあいさつ
する田中久夫会長

委員会を発足し、1月22日に設立総会を開催し、現在、島根県当局に認証申請中であります。認証後は、法務局に登記をし、4月から特定非営利活動（NPO）法人「だんだん」として活動することになります。

設立総会では、定款、予算、役員選任等の決議を行いました。以下、主な事項をお知らせいたします。

【法人の目的】

さくらの家とあまの里の支援を中心に、障害を持つ人が自立した日常生活、社会生活活動を営むための支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進することを目的とする。（定款より）

【会 員】

（1）正会員

この法人の目的に賛同して入会した個人

《40名より出苑》

（2）賛助会員

この法人の目的に賛同して会費を支払った個人

（3）団体会員

この法人の目的に賛同して会費を支払った団体

【役 員】

理事長 田中久夫
副理事長 高木輝二
理 事 井筒重盛

保野昌和
山中唱晴
竹下一昭
小前勝房

監 事 有馬義博
渡辺浩吉

また、家族会賛助会員の皆様には、NPO法人の賛助会員に移行していただくとともに、今後とも引き続き一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

海士町家族会

会長 田中久夫



海士町斎場に粉骨機を設置

1月24日引渡式行われる

過疎高齢化が進む本町は、墓を本土へ移転する人が、年々増えています。遠く離れていては墓参りもままならないという理由からのものです。

この度、粉骨機を設置したのは、東京の株式会社戸田葬祭場の中山準社長で、海士町に縁あつて是非寄贈したいという強い思いがあり実現したものです。

中山社長は、「改葬される方が粉骨した骨をすべて持ち帰るのではなく、少しでも海士の地に残していただき、また、例えば、島民の碑などを設け海士との絆が絶えることのないように」と語っておられます。粉骨すると容積が約3割になり、持ち帰りも随分楽になるなど、改葬の負担を軽減できるほか、兄弟縁者での分骨も容易になることが考えられます。それぞれの遺骨の海士との一期一会を大事にしてあげる施設といえるのではないのでしょうか。

粉骨をご希望される方は、少なくとも一週間前までにご連絡をお願い致します。

▲お問い合わせ先

*中の島総合クリーンセンター
TEL②-1196もしくは、
*生活環境課環境係

TEL②-1826まで



山内町長から中山社長へ感謝状が送られた。



火葬炉左側に設置した高さ2m幅1mの粉骨機。

第35回 立 春 式 14歳の春 希望に向かって！



少年の主張をする5名の代表

2月4日、隠岐開発総合センターにおいて立春日式がおこなわれました。

これは、人生の節目として14歳（昔の元服に当たる年）になった少年の自覚を促し成長を願う、まちを挙げての行事です。海士町では立春日の日を「少年の日」に制定し、県下でもいち早く取り組み、今年で35回目となり、少年に託す町の思いの表れともいえます。

今年立春日を迎えたのは、海士中学校25名（男子12人女子13人）です。

土曜日の開催とあって一般

の方の参加もあり、式典は、保護者や来賓の見守る中、山内町長から「この立春日を契機に自分なりの花を咲かせるには、チャレンジ精神を持って日々努力し、そしてそれを支える身体を鍛えることが大切。どんな時代になろうともみなさんには限りない可能性があることを忘れないでほしい。」と激励し、その後生徒を代表して磯田拓己くんが「これからの生活の中でより多くの人と交流し、視野を広げ様々なことに挑戦し自立した大人になれるよう努力したい。そして、まだ見ぬ将来に、自分らしさあふれる花を咲かせていきたい。」と誓いの言葉を述べました。

式典後の少年の主張では、代表の5名が将来に向けての新たな決意を力強く発表しました。また、近年、国立市との交流が深まる中、昨年の修学旅行で国立市でホームステ

イし、同市にある一橋大学では、ふるさと学習の成果「わが町のPR」を発表し、従来の観光型の旅行から新しい修学旅行のあり方を開拓したことは、マスメディアを通して大きくとりあげられました。このようなご縁から、同大学4年の竹井一馬氏（関満博ゼミ・ゼミ長）が訪れ、「15歳から25歳の多感な青年期に、喜怒哀楽さまざまな経験を通してじっくり時間をかけて人生を生きるということはどういうことが自分自身に問い抜くことが大切だ。

これからもまわりの人に感謝しながら、人生を自信をもって歩いて行ってほしい。」と激励の言葉をのべました。



激励の言葉を述べる一橋大学4年竹井一馬氏

最後に生徒から列席した保護者や来賓に感謝の歌を披露し厳粛の中にも和やかに式を終えることができました。

この立春日を迎えた25名達



感謝の気持ちを込めて熱唱する25名の生徒たち



平成17年度 海士町地域省エネルギービジョン 策定事業経過報告

1月21日（土）第3回海士町町民懇談会を開催致しました。海士町地域省エネルギービジョン策定事業の内容説明や我が家の省エネ度チェックをし、家庭で出来る省エネの話など活発に意見交換致しました。この第3回海士町町民懇談会をもちまして平成17年度海士町地域省エネルギービジョン策定事業は完了となります。住民の皆様にはいろいろとご協力いただきまして有難うございました。

3月中旬に平成17年度海士町地域省エネルギービジョン策定事業の報告書概要版、パンフレットを全戸配布させていただきます。是非ご覧になって下さい。

今後は本ビジョンを元に省エネルギー活動を展開していくこととなりますので、住民の皆様には一層のご協力をお願い致します。

海士町地域省エネルギービジョン策定委員会事務局

扇谷 政弘

杜協に届いた郷里への熱い思い ありがとうございました



まあちいと坂道の練習すら買もんも
われ行かれし、有難いわねえ！

この度、ふるさとの福祉に役立つものを寄贈したいという申し入れが、豊中市在住（中里出身）の株式会社真和製作所代表取締役の熊本範夫様からあり、多額な寄附をいただきました。熊本さんのふるさとへの熱い思い、お年寄りへの温かい思いに感謝しながら検討を重ねた結果、お年寄りがいつまでも海士で、いきいきと元気で暮らすために、需要見込みの高い「電動四輪車」3台を購入させて頂きました。町のどこかで見かけたら、のろろ運転に気を揉まず、どうぞ温かく優しく見守って下さるようお願いいたします。

海士町社会福祉協議会

事務局長 野津 明子

投稿

町の活性化は地元商店 事業所を生かしてこそ

（御波 中野勝枝）

人間の不可欠な条件、衣・食・住、これを町内で全て利用したら理想的な町づくりが・・・これは私の思い違いでしょうか？本土より渡つて来る生鮮食料品他、移動販売に毎回大勢詰めかけて手に余る程たくさん購入される光景を目に致します。移動販売に来る人や、それを利用する人を咎める権利はありません。しかし乍ら当町では、単独で生きる糧として地産地消が叫ばれ、生き残りに賭ける必至の思いで取り組んでいる姿や、職員給料30%をもカットし、昼夜、ある時は商人の成り振りで奮闘振り、これは町費獲得のため流している汗だと思えます。これらを外に地域住民はせつせと莫大な金を他に・・・？余りにも矛盾でナセンスな実態ではないのでしょうか。「新鮮」かつ「安い」等の錯覚で求めているのだと思いますがその鮮度を著しく落としているのは、町の皆さんでは・・・？ 地域住民が

地元商店をこぞって利用すれば順調に循環していくのです。海士町の商店は今危急存亡の状況にあります。納税者が弱くなれば町も苦しくなるだろうし、元気な商人が居てこそ活気づき潤っていきけると思います。目先の利点や私的感情にとらわれず、今一度大きく目を見開いてみて下さい。町長の年頭所感に「自分たちの町は自分たちで守るしかない」と皆でこの思いに立ち返っていただきたいと思えます。また、昨年8月菱浦地区に地域通貨（ハーン）が発行され、地域経済の活性化と消費拡大を目指す施策が展開されました。現在では、商工会の協力を得て地域通貨を全町に広げ町内に波及されつつあります。この取り組みにご理解を深め是非賛同され、今こそ町民一丸となつて町の健全に力を合わせ元気な「海士づくり」のお手伝いをして行こうではありませんか。「海士はみんなの郷土です！」

ダイオキシン

検査結果基準値適合 安全値クリア＝

一般廃棄物最終処分場（堤）のダイオキシンの検査結果は、基準値10ピコグラム以下0.48ピコグラムでしたので安全な計測結果でした。

（H17.5月測定分）

春の全国交通安全運動

平成18年4月6日（木）～4月15日（土）

●子どもと高齢者の交通事故防止

- ・自転車の安全利用の推進
- ・シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・スピードダウンと中央線はみ出し事故防止

第 16 期卒業生同窓会 ～チョット・ECOCA・同窓会～



団塊世代の昭和 24 年・25 年生まれです。我々 16 期生は、どこに住んでいても『次世代陣営』を引っ張って行ってほしいものです！

海士中第 16 期生大阪和泉支部長 松野 俊夫

2 月 11 日（土）玉造温泉に於いて第 5 回海士中学校第 16 期卒業生同窓会が、恩師 3 名と 62 名の参加で行われ、地元メンバーによる多彩な演芸（隠岐民謡）をご披露いただき盛会開催できました。

○今までの開催地
S 57 海士町（緑水園）
H 6 鳥取県日吉津村
H 9 大阪府箕面市
H 14 愛知県名古屋市中
H 18 松江市（玉造温泉）
次回の H 21 年に故郷海士町（マリポートホテル海士）で開催する予定です。

ヒュー・プリステン先生の「外国人の新鮮な目で海士を見て」

フレッシュ・アイズ・オン・あま

VOL.4

すばらしい！

僕はオーストラリアから来ました。みなさんは知っていますね。日本の冬はとても寒いですが、メルボルン（オーストラリアの南の都市）は冬でもあまり寒くありません。雪はあまり降らないし、気温の変化が激しいです。手袋とかはちよつとファッションで使います。だから僕は海士で初めて雪のある生活をしました。最初は本当にうれしかった。例えば、家の屋根形や庭や木に雪が降って、本当にきれいだと思っています。でも、寒いから、すぐに準備をしなければならぬことがたくさんありました。こたつや暖房や灯油や水道や車のことを調べなければなりませんでしたが、こういうものは初めて使います。全部は大事なことです。ですけど、一番暖かい生活ができるのは定期的なひまわりセンターに行くことです。僕は暖かい生活は体と気分がいい

気持ちになります。冬は寒くて体が動けない、やる気がなくなってしまう。そのために仕事が終わって、ひまわりに行くようにしました。初めにバイクで準備体操します、その後はトレーニングをして、だんだんもつと重さをあげます。最後にお風呂に入ります。体が温まって元気になる。ひまわりで友達といえるおじいさんに出会いました。運動しているといつも僕にすばらしいと言ってくれます。でも僕はそれのおじいさんが本気でトレーニングをしているので僕よりもすばらしいと思います。まだ冬は大変ですけど、気分と健康のためにいい生活できれば、もつと生きやすいと思っています。

プリステン ヒュー

海士中学校 A L T

※ご本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。

案内 隠岐牛 初出荷セレモニー

潮風に吹かれたミネラル豊富な草を食み健康的に育った牛たちが、いよいよ東京食肉市場に向けて 3 月 22 日出荷されます。

この日は、初出荷を祝うセレモニーが左記の日程で行われます。皆様お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内致します。

「島生まれ・島育ち」隠岐牛初出荷セレモニー

1. 日時：平成 18 年 3 月 22 日（水）
2. 場所：海士町大字豊田（有）隠岐潮風ファーム施設内
3. 行事内容
 - ▲施設見学・・・午前 10:00～10:30（対象：小・中学生）
 - ▲自由見学・・・午前 10:30～10:50
 - ▲式典……………午前 11:00～12:00

散餅もあります！（主催者、来賓代表者・保育園児）

第32回

海士町民珠算競技大会

(17・12・17)



小学3年生

総合の部

1位 高橋 芽生 (宇受賀)

2位 山戸 莉緒 (豊田)

3位 竹谷 波 (豊田)

読上算の部

1位 高橋 芽生 (宇受賀)

2位 竹谷 波 (豊田)

3位 山戸 莉緒 (豊田)

小学4年生

総合の部

1位 真野 航大 (北分)

2位 佐藤真理愛 (東)

3位 山戸 彪雅 (豊田)

読上算の部

1位 佐藤真理愛 (東)

2位 山戸 彪雅 (豊田)

2位 青山 達哉 (菱浦)

* 2位は同点のため2名

小学5年生

総合の部

1位 山崎 理沙 (菱浦)

2位 増谷 実香 (菱浦)

3位 吉元 麻湖 (菱浦)

読上算の部

1位 山崎 理沙 (菱浦)

2位 増谷 実香 (菱浦)

3位 吉元 麻湖 (菱浦)

小学6年生

総合の部

1位 青山健太郎 (菱浦)

2位 佐藤 太陽 (東)

3位 仲島 愛 (御波)

読上算の部

1位 青山健太郎 (菱浦)

2位 村上 千仁 (福井)

3位 佐藤 太陽 (東)

17年珠算暗算特別表彰者

珠算優秀賞

真野 航大 (北分)

吉元 麻湖 (菱浦)

青山健太郎 (菱浦)

中前 綾 (宇受賀)

珠算優秀賞・暗算優秀賞

佐藤真理愛 (東)

青山 達哉 (菱浦)

山戸 彪雅 (豊田)

山崎 理沙 (菱浦)

暗算優秀賞

平田 拓希 (北分)

全珠連珠算暗算検定合格

(1・29 実施)

第238回珠算検定

2級 真野 航大 (北分)

" 青山 達哉 (菱浦)

3級 中村 優花 (中里)

4級 宇野 由希 (北分)

6級 宇野 遥 (北分)

" 高橋 芽生 (宇受賀)

7級 山戸 莉緒 (豊田)

" 竹谷 波 (豊田)

8級 佐々木惇也 (東)

第194回暗算検定

2級 吉元 麻湖 (菱浦)

4級 宇野 綾華 (北分)

5級 渡辺 優人 (福井)

" 高橋 芽生 (宇受賀)

6級 藤田 侑 (北分)

" 山戸 莉緒 (豊田)

" 竹谷 波 (豊田)



ご 案 内

第21回 CHERRY CUP in AMA
隠岐島綱引大会

期 日 平成 18 年 4 月 9 日 (日)

時 間 午前 11 時より

場 所 隠岐神社外苑 (雨天中止)

申込み〆切: 平成 18 年 3 月 20 日 (月)

ご家族・ご近所・職場の友お誘い合わせの上
ご参加下さいますようご案内致します。

*お問い合わせ先

〒 684-0404 隠岐郡海士町菱浦

承久海道キンニャモニャセンター内

海士町役場交流促進課

TEL 08514-2-0017 FAX 08514-2-0358

図書券を寄贈

山陰合同銀行海士支店
地域支援を!

財団法人ごうぎん島根文化振興財団から、海士町の教育活動を支援する目的で、このほど小西支店長より図書券の寄贈がありました。

当財団は平成4年に設立され文化芸術の創造、教育、スポーツ活動などに貢献しようと県内各地で支援を行っており地域社会の発展に大きく寄与しています。



小西合銀海士支店長より寄贈書を受け取る山内町長

議会だより

12月
定例会

第48回定例会が12月15日招集され、2日間の会期日程で開会いたしました。

付議案件

- ☆ 補正予算案4件、
- ☆ 条例案1件、
- ☆ 海士町道路認定案1件
- ☆ 要望書の撤回の件
- ☆ 発議2件

以上の案件が上程され慎重に審議し、いずれも満場一致で可決いたしました。

主な補正予算

- ・空き家リニューアル整備費
16、600千円
- ・児童措置委託料
3、634千円
- ・牛舎建設補助金
11、881千円



- ・CAS工場貯蔵施設整備費
100、997千円
- ・中学校灯油タンク新設
1、950千円
- ・国保・退職者分療養給付費
18、429千円
- ・国保・退職者分高額療養費
4、000千円
- ・水道移転補償費
1、538千円
- ・特定地域生活排水事業費
8、410千円

一般質問

一般質問は2名の議員が登壇し、町長に所信を伺いました。



柏原 広行議員

「新型鳥インフルエンザ」の

対策は

問 世界的な流行が懸念される「新型インフルエンザ」について厚生労働省は11月14日「対策行動計画」を発表しており、日本で流行すると死者は17万人から64万人に達すると想定している。

島根県でも「対策行動計画」の素案を示し、今後関係機関や市町村などの意見を集約し、12月26日に正式に決定するとしている。県の対応待ちに頼ることなく、情報収集等に努めて住民の安全に万全の対策

を願うところですが、海士町ではどのような対策を考えているのか伺いたい。

答 町長

鳥インフルエンザの被害が世界的に騒がれており、大きな健康被害と、これに伴う社会的影響をもたらすことは承知している。島根県薬事衛生課より12月6日付けで今後必要対策についての文書が届き、抗インフルエンザウイルス薬については、県が備蓄・計画しており、その他インフルエンザ抗原検出キットの確保等については本町の診療所の方で対処している。また、この冬の「インフルエンザ総合対策」にある予防については、既にチラシを配布し、引き続き健康便り等で周知したいと考えている。



障害者プラン

策定後の推進は

問 海士町障害者プランが『ひとりひとりが夢をもち、自分らしさが生きるまち』をキャッチフレーズに今年度から5ヶ年計画で策定された。遂行にあたっては障害ごとに偏りのないよう推進していただきたいが、計画内容と進捗状況について伺いたい。

開発センター前の階段の手すりがないため下肢に障害がある人の社会参加に困難性があり、また、車いすの方が利用するスロープは、現状の勾配では大変危険であり早急に改善していただきたい。

このプランの条項に「公共施設のバリアフリー化や道路の段差解消や歩道の整備、地域における障害者を支援する



花岡 美近議員

ため、社会福祉協議会や民生委員、身体障害者相談員等の連携が図られるよう支援します」と明記されている。プランの策定を早急に実施すべきであると考えているが、その実施時期について伺いたい。

〔答〕 町長

偏りがないようにとのことだが、どの施策も重要なもので、予算面や緊急度の問題等々から、現在特に進めているのが、精神障害者や知的障害者の方が、海士町で生活できる環境づくりに取り組んでいるところである。町が設置主体となり海士町家族会が運営するグループホーム「あまの里」が、関係者の温かいご理解をいただき、東の旧中川旅館を改装して本年10月開所、4名の方が生活をしている。18年度は希望者があれば、知的障害者用を1ユニット4名分を設け、計8名の方が「あまの里」で生活できればと考えている。年度ごとの計画はないが、目標に向けて一歩一歩計画・実行しているのが現状であり、今後は更に充実強

化していきたいと考えている。ご指摘の開発センターの階段の手すりの件は、既に発注をかけており、近々設置することになっている。また、車いすのスロープについては、見積もりを取った上で検討したい。そして、公共施設のバリアフリー化は当然大事であり、緊急性のあるところから今後取り組んでいく考え方である。また、障害者を支援するため、社会福祉協議会や民生委員、身体障害者相談員等の連携については、議員自身も障害者相談員であるので意見をいただきながら、今後連携を図っていききたい。そういう面では是非情報をいただきたい。



H17.12.に工事完了した隠岐開発センター正面玄関右側階段手すり

平成17年度定期監査及び平成16年度財政援助団体監査報告

◆定期監査

・経理業務監査

9月末の滞納状況は、全体で681、629円の減少となっており、滞納総額は、6、656、656円になっている。滞納解消に向け尚一層の徴収努力を望む。

・財産管理業務監査

財産管理については、未登記町有地が対象人員18名、対象件数25件、内15年度以前の物件が7件あり、これらの早急な登記を望む。

また、備品の管理面において一部不十分な部分があり適切な管理を望む。

◆財政援助団体監査

(1) 海士町観光協会

事業委託金について、各事業毎の収支内容が不明瞭なので、次年度に明確にするよう依頼した。推定交流人口調査では、大幅にダウンする結果になった、今後は全島的な集客力向上に当協会がリーダー

シップをとることを望む。

(2) 株式会社「海士」

減収減益で、193万円の当期損失、当期末処理損失が5、420万2千円となる。特に海洋事業部は6期連続の損失で、損失額も毎期増加傾向にあるので、尚一層の対策を望む。

(3) 隠岐海士交通(株)

利用客数は減少傾向が続いている。少子高齢化社会で人口減少が進む中厳しい状況だが一層の経営努力を望む。

(4) 海士町社会福祉協議会

交付金は、委託料、補助金とも、交付金額と同額で財政援助の目的及び交付条件に沿って計画、実施されており、事業全体的には昨年度を14・7%下回っている。また、保健センターについては、昨年度の料金改定後、利用者が27・2%減少したが維持管理で7・2%の節約をしたため、赤字幅は、0・4%の49万円減少している。利用者増加の方法につき種々企画をしているので、その成果に期待する。

▼産業建設常任委員会

平成16年度の所管に関わる決算認定については、今後も依然として厳しい財政状況にあるのと同時に、決算審査意見書に係る意見等を踏まえ、なお一層の改善努力を求め、認定する。

委員長報告

▼総務厚生常任委員会

一、継続審議となっていた、隠岐汽船(株)からの「フェリーおき」に係る固定資産税相当額の助成については、隠岐汽船(株)の経営改善計画を見ながら更に調査研究が必要であり、継続審議とする。

二、平成16年度の所管に関わる決算認定については、昨年度指摘の4件についての対応が認められ、また義務的経費を抑え投資的経費を増やす努力が伺える。よって認定する。

監査委員 渡辺 浩吉
監査委員 石塚 仁志



教育だより

大山スキー教室



1月19日から21日にかけて大山スキー教室に海士中1年生19名、保護者2名が参加しました。

今回で9回目を迎えることとなる恒例の活動で、生徒達は、兄弟や学校の上級生から話を聞いているのか、とても楽しみにしていました。

スキー教室で大切にしていることを何点か挙げてみると、●海士では見ることも感じることもできない冬山に身を置き、その美しさや厳しさを肌

担任：井奥先生からの感想

で感じることで見聞を広め、新鮮な感動を味わったと思います。そして、ひいては海士の良さの再発見につながってくれればと思います。

●公共施設での集団生活を通してルールやマナーを守ること、また友達と協力して活動できるような態度が育つてほしいと思っています。

●わずか2日間という短い期間で、最初は怖がりながら恐る恐る滑っていた子ども達（ほとんどの子がスキー初心者）も、見る見る上達し滑れるようになります。自然に体ごとぶつかりながら達成感を感じているのではないのでしょうか？

子ども達の感想にも多く書かれていましたが、このスキー教室を通して多くのことを学び、これからの生活に生かしていこうとしています。

これらの様々な体験が、生徒たちの財産となってくれることを願っています。

今回、海士町中央公民館主催で生徒たちに貴重な社会体験の機会を作っていただき感謝しています。生徒たちにとつては普段学校生活の中で学んでいることを、どう社会生活の中で生かせるかということが1つの課題でした。しかし、慣れない島外での集団行動ということもあり、最初は公民館の方に厳しく叱られることもありましたが、この3日間の多くの体験の中から集団生活の中でのルールや友達と協力する態度も学び、ひとまわりたくましくなったように感じます。このスキー教室を終えた後、生徒たちから「この経験をこれからの生活に生かしていきたい」という感想がたくさんあり、今後学校教育を進めていく上で大変意味のある活動だったと思います。

私自身もこの活動を通して、地域とともに生徒を育てていくことの大切さを実感しました。ぜひ、またこのような機会を作っていただき、成長していく生徒たちを社会と一緒に見守ってほしいと思います。

「全校遊び」福井小学校 福井っ子タイム 異年齢間の交流深める！



一日入学の日新入生と「ボールをポン」のゲームを楽しむ

毎週水曜日の昼休みを全校遊びの時間としています。この全校遊びは、全校児童が外で思いっきり遊ぶことを通して、体力づくりや異年齢間での仲間づくりをねらいとして、昼休みを15分間延長して行います。どの児童も楽しみにしているこの全校遊びを実施するようになって、今年度で3年目になります。



ゲームを通して友達の輪が広がります。

内容は、自由遊びと縦割り

班による集団遊びがあります。この縦割り班で活動する遊びの時間を福井っ子タイムとし、月1回交流給食とともに実施しています。児童会で相談して活動を決めますので、その内容はさまざまです。今年度は、野球、しっぽとりおに、どろけい、キックベース、玉入れ、〇×クイズ、遊びの広場（福笑い、コマ、スライム作りなど）をしました。小学校一日入学の日には、保育園年長さ

食育だより(海士小学校) 旬の野菜を食べよう

給食試食会実施



給食試食会では“笑顔いっぱい”楽しい一時でした。

2月7日(9日)に『給食試食会』を行いました。沢山の保護者の方々に来ていただき、楽しい給食ができました。

保護者の感想から

●旬の野菜を給食で食べることは、幸せなことだと思います。

●給食のおかげで、野菜が食べられるようになり感謝しています。

ふるさと給食だった9日には、1年生が食の学習ノート



お祖母ちゃんたちに優しく見守られ調理する子どもたち

を使って、『今が食べごろおいしいな』の学習をしました。

栄養士の小田川さんにも来て

いただき、旬の野菜のよさ(お

いしい・たくさんとれるので

安い・旬の時期には栄養があ

る)をお話していただきました。

1年生はとても生き生きと学習しました。

17日には、3年生が総合的な学習の時間で『海士の郷土料理を教えてもらおう』を

しました。お祖母さん方に来て

いただき、鰯の刺身、こじょうゆの焼きめし、海苔のおに

ぎり、かさこの吸い物の作り

方を教わりました。お祖母さ

ん方の優しいまなざしの中で

子ども達は海士の味を心と体

で感じていました。

「レスリング授業…」

小・中・高連携の

取り組みを目指して

海士中学校 羽根田 崇

31年前、畳3畳程のマット

3枚から始まった島前高校の

レスリング愛好会。今では、

専用道場に2面のレスリング

場(マット約150枚)を備え、

全国大会の常連校となり活躍

を続けている。その背景には、

顧問の先生や部員の努力・熱

意はもちろんのこと、地域の

経験者の方々によるチビレス

(ちびつ子レスリング)を始め

めとする様々な活動が挙げら

れる。しかし、中学校に入学

すると同時に小学生時代チビ

レスに通っていた生徒も中学

校の部活動に入部し、そのほ

とんどがチビレスに通う事を

やめてしまう。いわば、3年

間の空白期間が生じ、そのま

まレスリングから離れていく

ことが多いのである。

様々な経緯やそれに携わる

多くの方々の思いをもとに地

域に根付いてきた、このレス

リングというスポーツをその

ような状況にしてもよいのだ

ろうか・・・?1人でも多く

の子供達にレスリングに触れ

る機会を与え、その楽しさを

伝える必要があるのでは

ないだろうか・・・?という、

中・高双方のアプローチから、

双方の体育教師によって、中

学校の授業としてレスリング

を実施することとなった。

最初は「ええ、レスリング

」、「痛そうで嫌だなあ」

などと、ブツブツ言っていた

生徒達も、今ではすっかりレ

スリングの楽しさを感じ、い

きいきと活動し、レスリング

に欠かす事のできない「心・

技・体」を学び、習得しつつ

ある。

この取り組みによって、1

人でも多くの子供達がレスリ

ングに対する興味・関心を深

め、益々、地域に密着したス

ポーツ活動として発展してい

くことを大変期待している。

また、今後は小学校も含め、

このような小・中・高連携の

取り組みがレスリングに限ら

ず、より深まっていき、子供

達の成長や地域の発展につな

がっていく事もあわせて願っ

ているところである。



隠岐島前高校だより

隠岐島前高等学校創立50周年記念～記念誌刊行に向けて～

平成14年度に始まった記念事業は、今年度記念式典・記念学園祭・記念植樹を行うことができました。さらにその集大成としての記念誌刊行に向けて準備を進めております。原稿や資料集め、編集など予想以上に時間がかかってしまいましたが、近日中に発刊の予定です。資料や写真等を快くご提供くださいました地域の皆様、ご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。



最終校正を終えた原稿

3年生の進路概況 (平成18年2月15日 現在)

今年度の3年生の進路決定状況は、全体的に順調である。

進学希望者は、ほぼ全員が第1希望の大学、学校等に合格している。

▲大学・短大では、推薦入試等が終了し、着実に結果が出ている。

▲専門学校では、かなり難易度が高い学校へも合格を決めている。

▲就職希望者は9月の選考開始から粘り強く取り組んだ結果、ほぼ全員が就職を内定している。

▲現3年生は、1年次より「総合的な学習の時間」を利用して進路学習を行っており、地域の方々による職業講話、職場見学、外部講師を招いての進路相談会等を通して自分自身の進路についてじっくり考え、その成果が第1希望の進路を実現するという形で表れたといえるのではないだろうか。現在、2、3月に実施される大学・短大等の個別入試に向けて特別授業を行っている。



個別試験に向け、補習授業に取り組む生徒たち

3年生進路状況 (合格者延べ数)

国公立四年生大学	4名
私立四年生大学	2名
公私立短期大学	3名
専門学校	18名
就職 (県内)	4名
(県外)	4名

スポーツ安全保険のご案内

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動を行う方々が安心して活動に専念できるための制度です。

平成18年度は、保険の改定はありません。

子どもの団体とは、中学生以下の5名以上で構成される団体であり、指導者を含んでの5名ではありません。

団体	対象となる団体	加入区分	対象となる事故の範囲	掛け金 (1人年額)	傷害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死亡	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)		
子どもの団体	中学生以下の子ども 子どもの保護者 (スポーツの指導、審判を除く)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償500万円 (免責1,000円)	突然死(急性心不全、脳内出血等) 160万円
	中学生以下の子ども (下段は、個人活動中の事故の場合の補償額である)	AW	団体活動中とその往復中以外	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算で1事故500万円(限度)を加算	
					100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故500万円 (免責1,000円)	対象となりません
	子どものスポーツ団体の指導者	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円	突然死(急性心不全、脳内出血等) 160万円
大人の団体	成人の文化活動、ボランティア活動及び地域活動 (スポーツの指導及び審判、ガキを除外)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円 (免責1,000円)	突然死(急性心不全、脳内出血等) 160万円
	老人クラブなど	B	団体活動中とその往復中	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	成人のスポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	団体活動中とその往復中	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	危険度の高いスポーツ活動	D	団体活動中とその往復中	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

(注 1) 「スポーツ」とは、運動競技及び身体運動(キャンプ活動その他の野外活動を含む)であって、心身の健全な発達を図るためにされるものを言う。

(注 2) 「子ども」とは、中学生以下の児童、生徒及び幼児、または盲学校、聾学校もしくは養護学校の児童、生徒及び幼児を言う。

(注 3) 「大人」とは、高校生以上の生徒、学生及び社会人を言う。

(注 4) AWにおける個人活動中の傷害保険事故の場合には、日射・熱射病及び細菌性食物中毒は対象とならない。

◆お問い合わせ先: 海士町教育委員会 TEL 2-1222

自衛隊一般・技術幹部候補生を募集します。

わが国の平和と独立を守るとともに、災害や国際貢献で活躍する自衛隊では、下記のとおり幹部候補生の募集を行います。

▼幹部候補生とは・・・

陸・海・空自衛隊の指揮官・幕僚・教官・研究員等となり、自衛隊の重要なポジションにつく幹部になるための要員です。採用後、幹部候補生学校で教育を受け、1年後に3等陸・海・空尉に任官します。

【受付期間】 平成18年4月3日（月）～5月12日（金）

【募集資格】 日本国籍を有し、平成19年4月1日現在

・22歳以上26歳未満の者

・学校教育法に基づく大学院において正規の課程を修め、修士の学位を受けた者は、28歳未満の者

・20歳以上22歳未満で学校教育法に基づく大学を卒業した者、又は外国における学校を卒業した場合で大学卒業に相当すると認められる者

・現に自衛官である者については、22歳以上28歳の者

【試験期日】 一次試験 ・筆記試験 平成18年5月20日（土）

・操縦適性検査 平成18年5月21日（日）（飛行要員希望者）

二次試験 平成18年6月20日～22日のいずれか一日

【試験場所】 一次試験会場は、松江・浜田。（飛行要員の操縦適性検査は松江会場）

二次試験会場は別示。

【採用時期】 平成19年3月下旬～4月上旬

● お問い合わせ先 自衛隊島根地方連絡部 0852-21-0015

交通安全協会会員の皆様に 新規特典のお知らせ！

交通安全協会は、交通事故の減少を目標に、地域の皆様が安心して生活できるように、各種の交通安全に関する活動、事業を行っている民間の団体です。

島根県交通安全協会では、18年4月1日から会員の皆様に新規特典事業といたしまして、「交通傷害等見舞金制度」と「交通安全協賛店制度」の新規事業を開始いたします。

●交通傷害等見舞金制度

交通安全協会の会員が交通事故により障害又は死亡された場合は、一定の基準により見舞金が支給されます。

〈補償内容〉

▲入院見舞金3万円

（61日以上入院した場合に限る。）

▲葬祭見舞金5万円

（事故発生から90日以内に死亡した場合に限る。）

保険料は、安全協会が負担し、見舞金の請求は、会員が直接保険会社に請求する。

●交通安全協賛店制度

交通安全協会指定の交通安全協賛店で、安全協会会員証と運転免許証を提示すれば、交通安全協賛店が定めている商品等の割引などが受けられます。

（この事業は、島根県全域で行います。）

交通安全協会への加入のお願い

＊・＊主な事業活動＊・＊

○春、秋などの交通安全運動

○子供自転車大会などの安全教育

○高齢者教室などの各種交通安全講習

○事故防止のための広報啓発

○優良運転者に対する表彰

○夜光反射材の着用促進運動

○チャイルドシートの貸出

＊免許更新時、また新規免許取得時には、交通安全協会の活動にご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

＊夜間の外出には、明るい服装で衣服や、履き物・持ち物などに夜光反射材を付けましょう。

夜光反射材のお求めは、浦郷警察署内にある島前交通安全協会で斡旋しておりますのでご利用下さい。

島前交通安全協会

事務局 竹野 礼子

「交通安全協賛店」を募集しています。

18年4月1日から、島根県全域で交通安全協会の会員の特典として「交通安全協賛店制度」が始まります。

商店・事業所の皆様、交通安全に賛同いただき「協賛店」として加盟していただませんか。

詳しいことは、お問い合わせ下さい。
ご連絡いただければ説明にお伺いします。

浦郷警察署内 島前交通安全協会

会長 吉田 一幸

TEL 6-0899

戸籍の窓



1/100届出分

(太字は地区在住者)

すこやかに

向山 葵ちゃん 宇受賀 淳一
竹谷 瑠香ちゃん 菱浦 透
花岡 礼子ちゃん 福井 和彦
小前 花鈴ちゃん 宇受賀 勝義

しあわせに

大野 英樹さん 東
原田 知愛さん
八澤 誠さん
岩田 幸子さん 豊田
平本 真一さん
上野 あゆ美さん 御波
竹村 和樹さん 知々井
林田 真理子さん
桃井 和彦さん 菱浦
大橋 愛子さん 菱浦
脇谷 直希さん
井上 真由美さん
齋藤 実さん
青山 真理子さん 菱浦
平木 亘さん 福井
山下 由美さん 福井
井上 裕三さん 福井
堺 美奈子さん

やすらかに

中島 秀三さん 御波
中島 由里さん 御波
前田 幸延さん
松崎 路子さん 中里
川西 芳美さん 保々見
大野 市郎さん 崎
安野 ミツさん 日須賀
畠山 祥江さん 東
川西 群逸さん 保々見
田中 明さん 福井
宮岡 ヨシ子さん 日須賀
竹中 岩雄さん 宇受賀
原田 ヨシエさん 知々井
川島 ジン子さん 知々井
宇野 泰子さん 北分
坂谷 鶴若さん 豊田
芽出 小夜子さん 崎
村越 ツヤ子さん 西
松野 多美子さん 知々井
●見舞い返し
金一封 油井 茂雄様(東)
金一封 田中 道子様(中里)
金一封 波多武次郎様(東)
金一封 富田 正夫様(加古川市)
金一封 子隅 恵子様(崎)
●寄付金
金一封 末永 仁志様(奈良市)
金一封 戸嶋 和子様(保々見)
金一封 中川 久寿様(知々井)
金一封 宮岡 隆文様(松江市)
(海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より)
●海士町千本桜実行委員会へ寄付金
金一封 近畿海士後鳥羽会様

紙上からお礼

金一封 海士中第8期卒業生有志
ご一同様
●広報郵送料
金一封 脇谷 輝美様(安来市)
金一封 岡島 和枝様(境港市)
金一封 道橋 明様(静岡県)
金一封 松本 達哉様(下関市)
金一封 前田長太郎様(大阪市)
金一封 南 美登里様(加古川市)
金一封 松野 昭市様(境港市)
金一封 倉谷 寛様(隠岐の島町)
金一封 梨田 征子様(茨城県)
金一封 野津 英智様(松江市)
金一封 秋月 鉄好様(大東市)
金一封 渡辺 寛様(邑智郡)
金一封 渡辺 弘尚様(豊中市)
金一封 神崎香津子様(枚方市)
金一封 小川 時代様(境港市)

あま 海士っこ



村尾優衣ちゃん(1歳)

平成 17. 3. 25 生まれ

清さん・佐知恵さんのお子さん
(宇受賀在住)

我が家のやんちゃ娘は抱っこが大好き。人から好かれる人になってね。

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先:総務課広報係
TEL 2-0115

住むさのコーナー

新入学園児の交通事故防止



古い電話帳の回収にご協力をお願いします

NTT西日本では、3月から順次新しい電話帳をお届けいたします。その際、現在お使いの電話帳は、回収させていただきますので、お手数ですが配達員へお渡しください。

NTTでは、地球環境問題に関する取組みとして、純正パルプの使用量削減に努めており、古い電話帳はリサイクルして新しい電話帳に再生しております。なお、配達の際にご不在の場合は、別途回収にお伺いさせていただきますので、下記のタウンページセンタまでお電話でご用命ください。

また、お届け内容・配達冊数の変更などもタウンページセンタにて受付いたしておりますので、お気軽にお申し付けください。

タウンページセンタ(0120-506-309)
ご協力よろしくお願ひいたします。

電話帳広告料金請求書にご注意ください

NTTグループが発行している電話帳広告料金の請求書は、NTT西日本またはNTT中国電話帳株式会社の名称が必ず明記されています。「タウンページ」「ハローページ」に掲載されている広告の切り抜きを貼付した郵便局・銀行の振込用紙はNTTが発行している電話帳の広告料金請求書とは全く関係ありません。

お支払いの際には、必ずお確かめ下さい。なお、少しでも不審に思ったら、タウンページセンタまで、お気軽にお問い合わせください。

タウンページセンタ(0120-506-309)